

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

292号 デング熱について

2回シリーズの2回目



漢方の健康堂薬局の店主 長澤昭と申します。

3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

291号からは、「デング熱について」と題して、2回シリーズでお伝えいたします。

291号 2回シリーズの1回目（10月10日発行）

1. デング熱とは

短編（科学のよもやま話）第209号（10月17日発行）

デング熱の蚊はどんなところに生息しているか？

292号 2回シリーズの2回目（10月31日発行）

2. 症状の現れ方



292号

2. 症状の現れ方

2回シリーズの2回目

2. 症状の現れ方

デング熱はその病状により、デング熱と重症型のデング出血熱の2つに

分けられます。

(1) デング熱

重症型のデング出血熱には至らず、デング熱と言われる病状にとどまるケースが、デングウイルスが感染し症状が現れた患者さんの大多数（約99%）を占める病気です。その症状は、感染後（蚊に刺されてから）2～10日ほどで突然の高熱が出ます。頭痛、眼の奥の痛み、腰痛、筋肉痛、骨痛が主な症状として現れ、さらに食欲不振、腹痛、吐き気、嘔吐、脱力感、全身倦怠感（けんたいかん）も現れることがあります。全身のリンパ節のはれもみられます。また、発熱してから3～5日目には胸、背中、顔面、腕、脚に発疹が出ることもあります。これらの症状は約1週間で消え、通常は後遺症を残すことなく回復します。

(2) デング出血熱

上記の症状を経た後、熱が平熱にもどるころに血液中の液体成分（血漿けっしょう）が血管からもれ出したり、出血の症状が現れたりすることがあります。この病気はデング出血熱と呼ばれ、適切な治療を行わないと死亡することがあります。

血漿の漏れ（もれ）は、胸水（きょうすい）あるいは腹水（ふくすい）として現れます。出血は、比較的軽い点状出血、注射部位からの出血、鼻出血、血便、吐血、下血と、様々です。血漿の漏れが進行すると、ショック症状を引き起こします。この状態をデングショック症

候群とも言います。

公益社団法人 日本産科婦人科学会 及び公益社団法人 日本産婦人科
医会によりますと、「デング熱感染を心配している妊婦のみなさまへ」と
題して、デング熱ウイルス感染が認められている地域の妊娠女性は下記
の点について留意する必要があると発表しています。

1. ヤブ蚊（ヒトスジシマカ）に蚊に刺されないよう、長袖等を着る
ようにして注意しましょう。虫除けスプレー使用も有効と考えら
れます（妊娠中使用に関して問題ないとされています）。蚊に
さされなければ感染はしません。もし感染しても、日本のように
流行が小規模の地域では重症化率は高くないと考えられています。
2. デング熱の症状は突然の発熱、頭痛、筋肉痛とそれに引き続く発疹
とされています。蚊に刺されてから 3-7 日後に高熱のほか、頭痛、
目の痛み、関節痛等の症状が見られれば、デング熱の可能性もある
ため、早めに医療機関を受診してください。デング熱では、血液
検査で白血球減少や血小板数減少が認められることが多く、これら
の検査はどの病院でも受けることができます。

以上、今週の内容でした。

■長澤 昭（ながさわ あきら）1952年 静岡県生まれ

1980年に薬局を創業。

2000年、毎日新聞「アミューズ」に、「漢方薬に詳しい薬局」として、全国わずか35店のうちの1店として取り上げられる。

2001年、約300の病名・症状別の「病気別漢方選薬システム」を完成させる。

現在は、当店HPにて公開中

□登録／解除の方法

↓ ↓ ↓

<http://kenkodo.web.infoseek.co.jp/melmaga.html>

（E-Magazine からご購入の方はこのメルマガの一番下に解除フォーム有り）

□注意・免責事項

◎一般の方向けの内容なので、厳密な医学用語は使用していません。医学的な専門性から考えた場合、妥当でない表現があると思いますが、なるべく平易な表現を使用するようにしてあります。

◎個別の健康相談を行うものではありません。

◎体の状態は個人によって異なっています。現在治療中の方はかかりつけの主治医と相談をしてください。

◎ご自分の責任の範囲でご利用ください。記載内容を利用し生じた結果について、当方では責任がとれませんのでご了承ください。

=====

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

発行者：漢方の健康堂薬局

発行責任者：長澤昭

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/>

E-mail: <mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp>

「薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報」の本文は、著作権により保護されています。

ただ、個人的にお友達に転送することは自由です。その場合、このメルマガの一部だけを転送するのではなくて、全文を転送していただけると、うれしいです。よろしければ、お知り合いの知人、友人に教えてあげてくださいね（商用の場合を除く）。

転載の場合はご一報ください。
